

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 特殊講義（地域研究IV）	選択	開講年次	【G】 - 【EF】 3	単位数	【G】 - 【EF】 2	
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-） / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・地歴・-・-）						
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・地歴選択・-・-）科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	オセアニアと国際政治	担当者	佐伯 康子				
授業概要	<p>【概要】 第二次大戦以降、大国がこの地域とどのようにかかわりあってきたかを見ていく。</p> <p>【到達目標】 国際政治の中で、オセアニアが大国にどのように翻弄されてきたかを理解する。</p>						
履修条件	特になし						
教科書・参考書	<p>【教科書】 テキストは特に定めなし。</p> <p>【参考書】</p>						
授業回数	授業内容						
1	アメリカとオセアニア①「戦略地区」信託統治領ミクロネシア I	1974年4月以前	予習：フランクリン・ルーズベルトについて				復習：「ウィルソニアン」の理解
2	アメリカとオセアニア②「戦略地区」信託統治領ミクロネシア II	1974年4月以降	予習：国際連合について				復習：従属地域に関する各省混成委員会の理解
3	アメリカとオセアニア③ ANZUS 条約とオーストラリア I 朝鮮戦争以前		予習：東京裁判について				復習：NSC 13-2 の理解
4	アメリカとオセアニア④ ANZUS 条約とオーストラリア II 朝鮮戦争以降		予習：サンフランシスコ講和条約について				復習：日米安全保障条約の理解
5	アメリカとオセアニア⑤ アメリカにとってのオセアニア		予習：アメリカの太平洋政策について				復習：アメリカの防衛政策の理解
6	イギリスとオセアニア① メンジス首相とイギリス		予習：ロバート・メンジスについて				復習：ウエストミンスター憲章の理解
7	イギリスとオセアニア② ホイットラム首相とイギリス		予習：ゴフ・ホイットラムについて				復習：オーストラリアンナショナリズムの理解
8	日本とオセアニア① 日豪関係の変遷 I 1950年代のオーストラリア		予習：兼松英佐次郎について				復習：反日感情の理解
9	日本とオセアニア② 日豪関係の変遷 II 1960年代のオーストラリア		予習：東京オリンピックについて				復習：資源供給国と需要国の理解
10	オセアニアの現状		予習：マルコム・ターンブルについて				復習：オセアニアのリーダー国オーストラリアの理解
11	オセアニアの将来① オセアニア地域のオーストラリア		予習：ボブ・ホークについて				復習：APEC の理解
12	オセアニアの将来② オセアニア地域のミクロネシア		予習：島諸国会議について				復習：非核化への理解
13	映画鑑賞①「オーストラリア」 前編		予習：1901年以降の英豪関係について				復習：オーストラリアのエリートの理解
14	映画鑑賞②「オーストラリア」 後編		予習：第一次世界大戦前後の英豪関係について				復習：今日の英豪関係について
15	自由連合協定とアメリカ および 理解度確認テスト		予習：アメリカの太平洋政策について				復習：ミクロネシア地域の重要性の理解
評価方法	授業態度（40%）、小テスト（40%）、理解度確認テスト（20%）で評価する						
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、小テスト・確認テストを受けなかった者など、評価不能の場合には「F」とする。						
その他	特になし ※G 別：法【-】 社【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 社【-】 経【-】						